



NEWS RELEASE

株式会社 すららネット
2022年2月15日

2月25日 鎌倉市教育委員会と 「すららドリル」事例共有会を開催

～市内の全公立小中学校、約 11,200 人が「すららドリル」を利用中～

株式会社すららネット（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：湯野川孝彦）は、2022年2月25日（金）に学校関係者を対象に、鎌倉市の公立小中学校での「すららドリル」事例共有会を鎌倉市教育委員会と開催いたします。



鎌倉市では、ICTの活用で学びを変える「GIGAスクール構想」の推進に向け、高速ネットワーク環境の整備や市立小中学校の全ての児童生徒がタブレット端末を利用できる環境整備を行うなど、ICT環境の整備を積極的に行っています。

上記の取り組みの一環として2021年8月より、アダプティブICT教材「すららドリル」を鎌倉市内の全公立小中学校で採用いただき、現在、鎌倉市内の全公立小中学校25校、約11,200人が「すららドリル」での学習を開始しています。

同市が目指す「一人一人の理解度や習熟度に応じた学び」の実現にあたり、「すららドリル」の理解度に応じた問題を自動作問・採点する機能を通して個別最適な学習を提供できる点を評価いただき、この度の採用に至りました。



NEWS RELEASE

導入から約半年間の鎌倉市での取り組みの事例共有会を、鎌倉市教育委員会と共同で 2022 年 2 月 25 日（金）に開催いたします。鎌倉市内の小中学校の先生より、ICT 教材の導入から活用が定着するまでの使い方の工夫や困難の乗り越え方などをお話いただきます。市外の学校関係者の参加も受け付けておりますので、ふるってご参加ください。

すららネットは今後も、新しい学習体験を届ける事業活動を通じ、学習者に「大人になっても役に立つ真の学力」と「努力をすれば結果が出るという自信」を提供していきます。

■事例共有会概要

日時：2022 年 2 月 25 日（金）15 時 40 分～16 時 40 分

対象：教育委員会、公立小中学校の管理職・教職員

開催方法：オンライン（Zoom）にて実施

講座内容（予定）：

「すららドリル」事例共有会

- ・鎌倉市立小坂小学校
- ・鎌倉市立腰越小学校
- ・鎌倉市立腰越中学校

詳細・申込はこちらをご確認ください。

<https://forms.gle/FEuj8sWQpCTMxCrz7>

■AI×アダプティブラーニング教材「すらら」、アダプティブドリル「すららドリル」について

「すらら」は、小学校から高校までの国語、算数／数学、英語、理科、社会 5 教科の学習を、先生役のアニメーションキャラクターと一緒に、一人一人の理解度に合わせて進めることができるアダプティブな e ラーニング教材です。レクチャー機能、ドリル機能、テスト機能により、一人一人の習熟度に応じて理解→定着→活用のサイクルを繰り返し、学習内容の定着をワンストップで実現できます。初めて学習する分野でも一人で学習を進めることができる特長を生かし、小・中・高校、高等教育機関、学習塾をはじめ、放課後等デイサービス等においても活用が広がっています。「すららドリル」は、アダプティブなドリルと自動作問・採点機能を有するテストからなり、「すらら」の姉妹版として主に公立小中学校向けに提供を開始しています。

■株式会社すららネットについて

すららネットは、「教育に変革を、子どもたちに生きる力を。」を企業理念とし、アダプティブな対話式 ICT 教材「すらら」と「すららドリル」を、国内では約 2,500 校の塾、学校等 40 万人を



NEWS RELEASE

超える生徒に提供しています。全国の公立学校、有名私立中高、大手塾での活用が広がる一方で、発達障がいや学習障がい、不登校、経済的困窮世帯を含む生徒に学習の機会を提供するなど日本の教育課題の解決を図ることで成長を続け、代表的な EdTech スタートアップ企業として2017年に東証マザーズに上場しました。